

(4) 分科会の委員長及び副委員長について

(委員長) 前回の議運では、分科会の委員長、副委員長という言い方をしたが、会長、副会長という呼称もある。どちらがよいか会派の意見を伺う。

(事務局) 分科会も委員長、副委員長とすると、予算決算常任委員会の中に委員長、副委員長が複数存在することも考慮してほしい。

(政策グループガイア、長久手グローバルネット、無会派、公明党、創政クラブ、改革ながくて、市民ネット)

会長、副会長でよい。

(委員長) 分科会は会長、副会長という呼称で統一してよいか。

<異議なし>

(5) 分科会の審査方法について

(委員長) 平成31年第1回定例会は部局別に審査することとしてよいか。

<異議なし>

(事務局) 分科会への市長、副市長の出席はどう考えるか。

(委員長) 今回は議論せず、次回以降に議論することとする。

(議長) 現在、委員会には市長または副市長が出席しているので、今年度は市長または副市長の出席をお願いしたいと考える。委員会の採決時には出席は必要でないか。

(委員長) 次回の議運で会派の意見を伺う。なお、本日決定した事項を踏まえて、会議規則及び委員会条例の新旧対照表を作成し、次回の議運までに議運委員に配付してほしい。

(6) 議会報告会について

(副委員長) チラシを自治会回覧する予定であったが、担当課から回覧できないとの回答があった。

(委員) 断られた経緯はどのようなか。

(事務局) 担当課に確認したところ、今年度から広報に掲載・折り込みがあるものに関しては回覧を行わないとのことであった。議会だよりも広報と同様に全戸配付され、議会だより裏面に議会報告会の記事が掲載されているため断られた。自治会長等から回覧するチラシの数が多いという意見があったためと聞いている。

(副委員長) これまで自治会回覧していた団体にも問い合わせたところ、今年度から自治会回覧にするか、自分たちで配付するかを毎月判断しているとのことであった。いつ、どのような経緯で自治会回覧に関する取り決めが変わったのか、早めに情報をもらいたかった。

(委員) 制度が変わったのであれば、もう少し早く連絡すべきである。何のために議運で議論してきたのか分からなくなる。いきなり断られるのは納得いかな

い。

(事務局) 情報収集が行き届かず申し訳ない。今後情報収集、情報提供に努めていく。

(副委員長) 自治会回覧ができなくなったが、代替案について何か意見はあるか。

(委員) 一昨年のように、議員毎でエリアを決めてチラシを配付するのはどうか。

(副委員長) 1議員300枚を配付することとしてよいか。

<異議なし>

(委員) チラシをカラー印刷する場合、各自の負担は700円程度になる。

(副委員長) 配付するチラシはカラー印刷でよいか。

<異議なし>

2 その他

(委員) 前回の議運で、議会報告会役割分担表が配付されたが、「アドバイザー」の役割はどのようなものか。

(副委員長) 意見交換の際のサポート役である。

(委員) どの議員も責任を持って活動しているため、特別に「アドバイザー」という役割は必要ないのではないか。

(議長) これまでの経験から考えると、議員経験が長い議員をサポート役とすることで、委員会毎の意見交換がスムーズに進むと考える。

次回は平成30年11月12日(火)午前10時
以上で議会運営委員会を終了する。